

# 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：精神保健費

## 事業名 措置入院患者退院調整会議費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 精神保健福祉係 電話番号：058-272-1111(内3314)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 786 千円 (前年度予算額： 786 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	786	0	0	0	0	0	0	0	786
要求額	786	0	0	0	0	0	0	0	786
決定額	786	0	0	0	0	0	0	0	786

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

精神保健福祉法により、入院中から地域移行を想定した支援を実施しているところであるが、平成30年3月に「地方公共団体による精神障害者の退院後支援に関するガイドライン」で示された国の指針に従い、措置入院者が退院後に継続的な医療等の支援を確実に受けられるよう、精神障害者の支援体制に関して関係行政機関等と協議するとともに、個別ケース検討会議を開催し、退院後支援計画の作成や実施に係る連絡調整を行う必要がある。

### (2) 事業内容

#### ・精神障害者地域支援調整会議

措置入院患者について、退院後の支援計画の作成や、実施に係る連絡調整を行うため、個別ケース検討会議を開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担（交付税措置）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	375	
旅費	89	業務旅費、費用弁償
需用費	168	事務用品、公用車の燃料費
役務費	154	通信運搬費
合計	786	

**決定額の考え方**

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 第3期岐阜県障がい者総合支援プラン
- ・ 第7期岐阜県保健医療計画

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

措置入院患者が退院後に精神障がい者が住み慣れた地域で生活を送ることができるよう、地域生活への移行に向けた支援並びに地域生活が継続するよう支援を推進する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率

### ○指標を設定することができない場合の理由

措置入院患者の退院後の個別支援にかかる事業内容であることから、目標値を設定することになじまない。

### （これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>各保健所において、措置入院時から病院と連携し、措置入院者の退院後支援を検討し、同意があった者について退院後支援計画を策定した。</p> <p>各保健所において、調整会議を行い、措置入院者及び関係支援機関に個別支援計画を交付するとともに、退院後支援計画に基づいた支援を実施した。</p>
令和 3 年度	<p>各保健所において、措置入院時から病院と連携し、措置入院者の退院後支援を検討し、同意があった者について退院後支援計画を策定した。</p> <p>各保健所において、調整会議を行い、措置入院者及び関係支援機関に個別支援計画を交付するとともに、退院後支援計画に基づいた支援を実施した。</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 2	措置入院患者が、退院後も治療を継続し、病状が安定した状態で地域で安心して生活するために、関係機関が協力して支援する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) 2	保健所がリーダーシップを取り、医療機関等と連携を図った結果、重層的な支援が実施できている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</li> </ul>	
(評価) 2	県の事務である措置入院業務を担う保健所がリーダーシップを取り、措置入院患者の退院後支援を進めていくことで、効率的に支援が実施できている。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 措置入院患者に対しきめ細やかな支援を行うために、人材の養成及び確保が必要である。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 退院後支援の計画作成に同意を得られた者を対象とするため、医療機関と協力し、同意が得られるようにする。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】